

# やすらぎ短信

平成29年  
11月号

## 七五三参り



七五三参りは、お子様が大人へと成長していく節目を家族でお祝いする行事です。子どもの成長の節目に家族で神様にお祈りすると、家族皆の心が豊かになります。今後もお子様が健康に成長できますよう神様のご加護を頂きましょう。

◎七五三参りの由来について

左記の儀式がもとになっております。

男女の三歳 「髪置（かみおき）」の儀

頭髪を伸ばしはじめる儀式

男子の五歳 「袴着（はかまぎ）」の儀

初めて袴を着用する儀式

女子の七歳 「帯解（おびとき）」の儀

幼児用の着物の紐を解き、大人用の帯

を用いる儀式

## 浦幌神社七五三参りのご案内



平成二十九年の該当者（数え年）

男の子 平成二十七年生 三歳

平成二十五年生 五歳

女の子 平成二十七年生 三歳

平成二十三年生 七歳

※満年齢でも可

日時 十一月十一日（土）午前十一時

十一月十二日（日）午前十一時

十一月十五日（水）午前十二時

●この日以外をご希望される場合は、ご予約にてご奉仕致します。

●ご祈願を受けられた方には、お守り・

昔おもちゃ・千歳飴を授与致します。

●玉串料三千円よりお気持ち

（電話）〇一五―五七六一―二四四八

## 新嘗祭（にいなめさい）

来る十一月二十三日、宮中の神嘉殿（しんかでん）で新嘗祭が斎行されます。このお祭りは、天皇陛下が、天照皇大神をはじめ、天地の神々に新穀や新酒をお供えし、御自らも親しくこれを食される儀式で、今から千四百年以上も前から続く最も重要な祭儀の一つです。

浦幌神社でも同日、午後六時より、新嘗祭並びに収穫勤労感謝祭を斎行致します。各産業関係者約六十名が一同に参集し、地元で収穫された様々な食材を町内各二十四社の神々にお供えし、収穫感謝の祈りを捧げます。当時は、浦幌神社神楽舞月姫会のお神楽も奉納されます。



### 宮司の 一筆

昨年八月の台風十号で被災し、約三六キロで通行止めが続いていた国道二七四号日勝峠の通行が十月二十八日、約一年二カ月ぶりに再開された。被災後直後は、現場へ行くことすら困難で、徒歩、自転車、ゴムボート、ヘリコプター、ドローンなどを使い、一ヶ月間で六十六箇所の被災状況を把握し、崩落した橋や道路の復旧と再発防止工事を成し遂げた我が国の土木技術と冬の吹雪や降雪の中でも作業を続けた技術者たちの職人魂に感銘を受けた。道央と道東を結ぶこの道路を一日も早く普及させ、地域の経済活動を取り戻したいという強い使命感が、これだけ早い全面開通を実現させたのであろう。この技術は数年で築いたものではなく、開拓以来、先人から受け継がれた技術の積み重ねである。我々が日々快適に暮らせる裏には、災害を乗り越えてきた多くの先人達の苦勞と努力を決して忘れてはならないと感じた。

### 下坂容山前副会長

#### 北海道表彰受賞



去る十月二十四日、北海道神社庁神社関係者大会が留萌市で開催され、下坂容山前副会長が勤続奉仕二十年以上の功績が認められ、表彰の栄に浴されました。下坂氏は平成八年より氏子会理事に就任、同十六年より総務理事、同二十二年より副会長を歴任、塗装工事等の境内整備にもお力添えを頂きました。

下坂氏奉納による塗装工事

平成十九年 浦幌神社鳥居

浦幌神社社殿柱

乳神神社鳥居

平成二十二年 伏見稻荷神社鳥居

平成二十五年 乳神神社社殿

水子神社社殿

平成二十七年 忠魂碑階段

役員一同心より感謝申し上げます。

### 神社で茶道体験

去る十月二十二日、社務所に於いて、うらほろ和ごころ体験塾主催の茶道体験が行われ、三十名が参加致しました。



子どもたちは、表千家乙女会の指導のもと正座で、和菓子とお抹茶の頂き方を学びました。

### 浦幌神社行事予定

- 十一月一日 月次祭
- 十一月十五日 月次祭
- 十一月十五日 七五三参り
- 十一月十九日 鳥獸魂慰霊祭
- 十一月二十三日 新嘗祭並びに  
収穫勤勞感謝祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 ○一五・五七六・二四四八